

事務事業名		文化財普及活用事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業				
政策体系	政策名	0 3 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	1 3 地域の歴史・文化資源の継承				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0 1 文化財の保存と活用				01	10	04	02	15
根拠法令		文化財保護法、県・市文化財保護条例		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		事務事業区分				
部課名		教育委員会事務局教育総務課								
課長名		遠藤 和枝				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)				
係名		文化財係	電話 27-3111							
担当者		村田 匠	内線 296							
所属				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
・文化財の普及と活用を行う事業 ・事業内容は、①文化財解説パンフレットの作製及び配布、②遺跡見学会(文化財めぐり)、③考古資料台帳作成、④博物館事業(考古資料関係展示、体験学習会)への協力など ・事業費は、遺跡見学会(文化財めぐり)消耗品、考古資料台帳作成用パソコン賃借料等に支出 ・国庫補助金(地域の特色ある埋蔵文化財活用事業)を活用して実施				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
文化財解説パンフレットの配布、文化財めぐり、埋蔵文化財台帳整理を実施した。		ア	文化財パンフレット合計配布数
			枚
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	文化財普及イベントの開催回数
文化財解説パンフレットの配布、文化財めぐり、埋蔵文化財台帳整理を実施する。			回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		ウ	
指定文化財、市民		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		カ	指定文化財数
			件
		キ	埋蔵文化財包蔵地数
			件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
・文化財の魅力を積極的に発信し、より多くの人が関心を持つよう働きかける。 ・適切な整備や資料整理によって文化財の価値を引き出し、活用の促進を図る。		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		サ	各種イベント参加者数
			人
		シ	各種イベント参加者の満足度
			%
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス	
・文化財を通じて郷土への愛着が育まれる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	2	837	744	800	800
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	181	1,123	912	800	800
		事業費計(A)	千円	183	1,960	1,656	1,600	1,600
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		人件費計(B)	千円	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
		トータルコスト(A)+(B)	千円	9,783	11,560	11,256	11,200	11,200
⑤活動指標		ア	枚	110	144	150	150	
		イ	回	1	2	1	1	
		ウ						
⑥対象指標		カ	件	87	87	87	87	
		キ	件	195	195	195	195	
		ク						
⑦成果指標		サ	人	5	29	20	20	
		シ	%	-	100	100	100	
		ス						

事務事業ID	0850	事務事業名	文化財普及活用事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和25年文化財保護法、昭和32年県文化財保護条例、昭和35年市文化財保護条例の施行後、文化財の普及活用を図るために始められた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
平成29年度から、国庫補助金を活用して埋蔵文化財の普及に取り組んでいる。令和2年度から、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの規模縮小や実施方法の変更などを余儀なくされている。令和3年8月に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたことから、全国的に縄文遺跡への関心が高まっている。近年は国や県で文化財の活用を推進している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
・文化財の普及イベントを増やして欲しい。(イベント参加者から)

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	文化財の普及活用に取り組むことは、地域文化の伝承と創造のもととなり、豊かな心を育む人づくりの推進に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	文化財保護法、県・市文化財保護条例で、公共の関与が示されているため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	この事業の対象は、市内に所在する指定文化財及び埋蔵文化財であり、その価値はいずれも公的な調査に基づいて評価されているため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	文化財への高い関心を維持するためには、イベントの工夫やコンテンツの更新を図り、幅広い世代にアプローチする必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	文化財の価値や魅力が共有されないことで、歴史・文化・環境への関心が薄れ、郷土に対する意識が低下する。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	文化財の普及活用に係る費用として適切である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	文化財の普及活用を図るための必要最低限の人員である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	参加しやすいイベント、理解しやすいコンテンツを心掛け、より多くの人に活用してもらえるよう取り組んでいる。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																		
<p>① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止</p>	<p>左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																			
<ul style="list-style-type: none"> ・縄文遺跡群の世界遺産登録などに伴い多様化するニーズに対応するため、ICTを活用した積極的な情報発信が求められている。 ・イベント参加者の年齢層に偏りがみられるため、内容や情報発信の手段を工夫し、幅広い層に市内の文化財について知ってもらう必要がある。 																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
<p>① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止</p>	<p>埋蔵文化財の普及、活用のために必要な事業が行われている。市民の関心を高め、観光振興やまちづくりに有効活用する取組が求められている。</p>